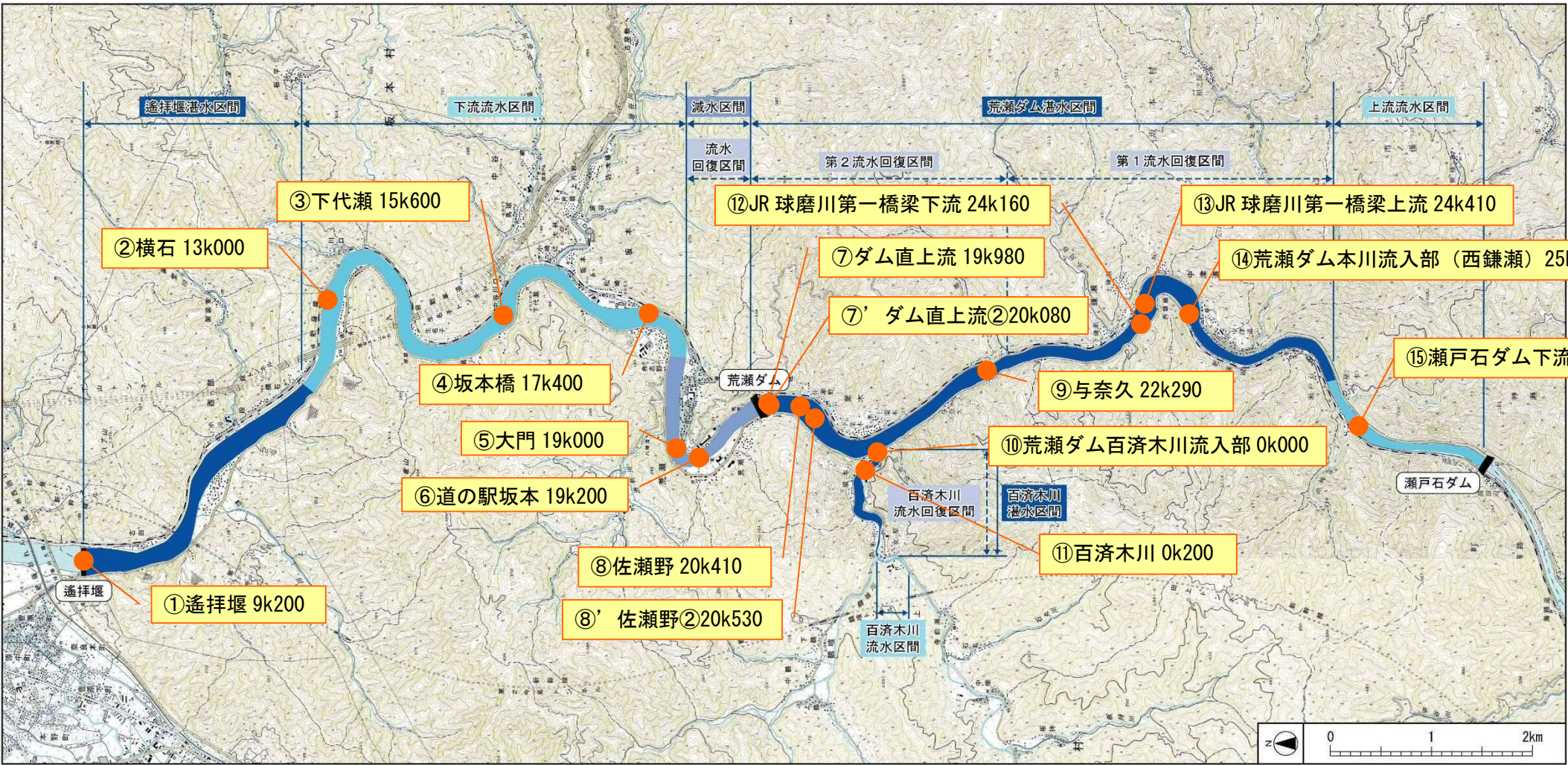
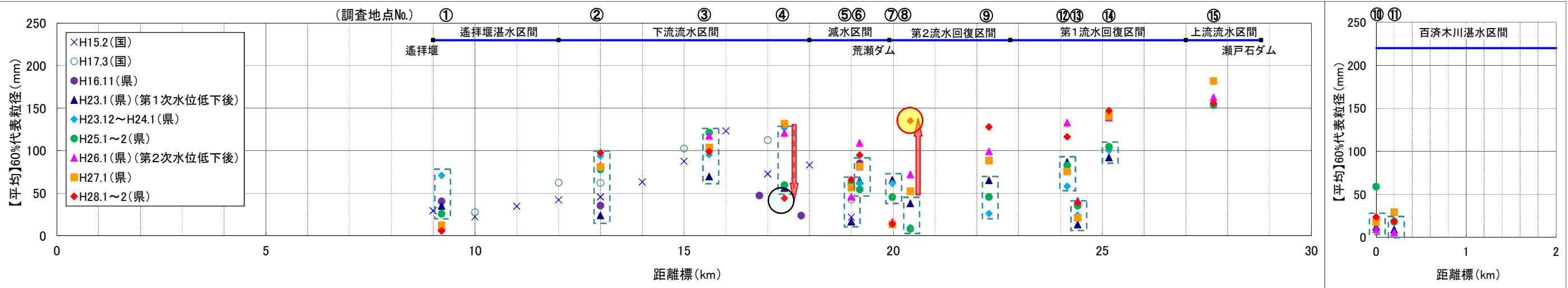


6) 底質 (粒度組成)

【参考資料 I -153参照】

評価項目	視点	平成 27 年度の調査結果概要
粒径の変化状況	60%粒径の変化状況	・ 60%粒径の横断平均について、H26 年度から H27 年度にかけて、「⑧佐瀬野」で粗粒化、「④坂本橋」で細粒化の傾向がみられた。 ・ 蛇行部である「②横石」左岸や「⑫JR 球磨川第一橋梁下流」及び「⑭荒瀬ダム本流流入部（西鎌瀬）」などで粗粒化の傾向がみられた。 ・ これらの変化は、今年度の小中規模の出水により土砂が流出した場所で粗粒化、堆積した場所で細粒化したものと考えられる。また、「②横石」左岸の粗粒化については、調査地点近傍で河川の維持掘削工事が実施されており、その影響も考えられる。

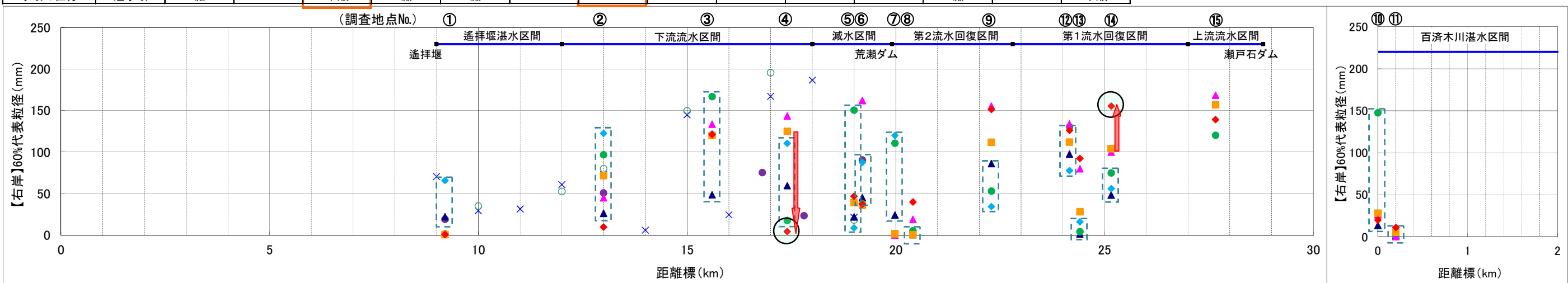
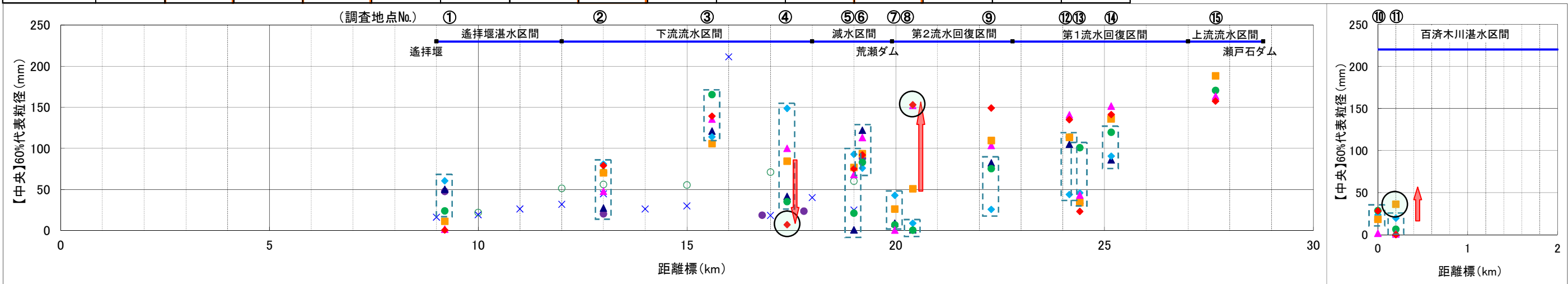
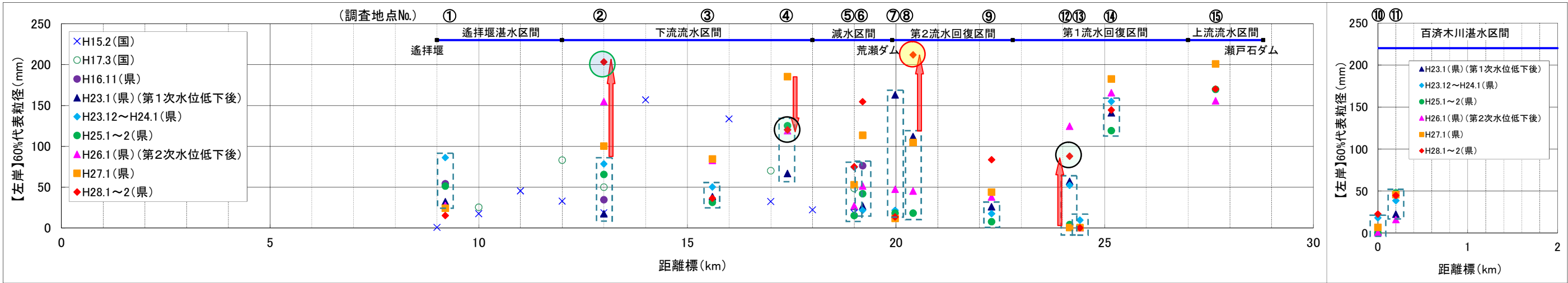
60%代表粒径の分布状況



【凡例】

- : H27 年度 (H28. 1~2) に過去の変動域を大きく超えた点
- : H27 年度の仮設、掘削による変化を受けた点
- : H26~27 年度に大きく変化した地点
- : 第 2 次水位低下前の変動幅

※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(坂本、中津道)を背景図として使用したものである。



【左岸】	①遙拝堰	②横石	③下代瀬	④坂本橋	⑤大門	⑥道の駅坂本	⑦ダム直上流	⑧佐瀬野	⑨与奈久	⑩百済木川流入部	⑪百済木川	⑫JR橋梁下流	⑬JR橋梁上流	⑭西鎌瀬	⑮瀬戸石ダム
蛇行部or直線部	直線部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	直線・蛇行	蛇行部	直線部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	直線部
陸域or水域	水域	水域	陸域	水域	水域	水域	陸域	水域	陸域	陸域	水域	陸域	陸域	陸域	水域
水域の区分	湛水域	淵	—	平瀬	淵	淵	—	早瀬→平瀬	—	—	平瀬	—	—	—	早瀬

【中央】	①遙拝堰	②横石	③下代瀬	④坂本橋	⑤大門	⑥道の駅坂本	⑦ダム直上流	⑧佐瀬野	⑨与奈久	⑩百済木川流入部	⑪百済木川	⑫JR橋梁下流	⑬JR橋梁上流	⑭西鎌瀬	⑮瀬戸石ダム
蛇行部or直線部	直線部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	直線・蛇行	蛇行部	直線部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	直線部
陸域or水域	水域	水域	陸域	水域	水域	水域	水域	水域	陸域	陸域	陸域	陸域	水域	陸域	水域
水域の区分	湛水域	淵	—	平瀬	淵	淵	湛水域	早瀬→平瀬	—	—	—	—	淵	—	早瀬

【右岸】	①遙拝堰	②横石	③下代瀬	④坂本橋	⑤大門	⑥道の駅坂本	⑦ダム直上流	⑧佐瀬野	⑨与奈久	⑩百済木川流入部	⑪百済木川	⑫JR橋梁下流	⑬JR橋梁上流	⑭西鎌瀬	⑮瀬戸石ダム
蛇行部or直線部	直線部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	直線・蛇行	蛇行部	直線部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	蛇行部	直線部
陸域or水域	水域	水域	陸域→水域	水域	陸域	水域	水域	陸域	水域	水域→陸域	陸域	陸域	水域	陸域	水域
水域の区分	湛水域	淵	平瀬	平瀬	—	淵	湛水域	—	平瀬	平瀬	—	—	淵	陸域	早瀬

【凡例】

○ : H27 年度 (H28. 1~2) に過去の
変動域を大きく超えた点

○ : H26~27 年度に大きく変化した地点

○ : H27 年度の仮設、掘削による
変化を受けた点

□ : 第2次水位低下前の変動幅